

「子育て世代に選ばれているまち」島田の人口（社会動態）増加

（市長戦略部戦略推進課）

（１）要旨

◆平成26年から令和2年（各年1月～12月）まで、30代及び9歳以下の社会動態が7年連続で転入超過（社会増）

- ・各年1月から12月までの住民基本台帳データ（外国人を含む）の集計から、市全体では、7年間で149人の転入超過（社会増）であるが、直近3年間は、転入超過（社会増）になっている。（H30年40人、R元年81人、R2年69人の増）
- ・年代別に見ると、0歳から9歳及び30歳から39歳の年代においては、7年連続で「転入超過（社会増）」となっており、その累計は、それぞれ588人、365人となっている。

（２）年別推移

◆各年別社会動態について

（人）

	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	7年間 合計
全体	▲110	▲63	17	▲183	40	81	69	▲149
0～9歳	47	82	72	58	103	116	110	588
30～39歳	4	74	84	2	92	35	74	365

（３）要因等

◆重点的に取り組んできた子育て支援施策や移住・定住施策に一定の効果

・主な施策

- ・保育園待機児童数ゼロを達成（R3.4.1現在）
- ・保育料第二子半額、第三子以降無償化（開始：H29.9～）
- ・島田市子育て支援ネットワーク（R3.2月末現在112団体加盟）
- ・子育てコンシェルジュの配置（開始：H26～）
- ・島田市版ネウボラ（開始：H31.4～）
- ・ハローワーク島田お仕事相談室「ママハロ」の設置（開始：H30.8～）
- ・マイ支援センター事業（開始：H27～ R3.2月末現在1,531人）
- ・子育て世帯移住者の交流会（ウエルカム島田など）の開催（開始：H29～）
- ・移住定住促進事業（開始：H27～）
（実績：R3.3月1日現在 県外からの移住者数93件・246人
※県、市の施策を利用して移住した人数）
- ・中古住宅購入奨励金事業（開始：H29～）
（実績：R3.3月末時点 37世帯130人、内9世帯29人が市外から転入）
- ・島田市に住もう応援奨励金（開始：H27～R1）
（最終実績：R2.3月末時点 42件・127人）

（４）今後の方針等

◆「暮らすなら島田」「子育てするなら島田」の更なる推進

- ・今後の人口減少・超高齢社会に適應した持続可能なまちづくりを目指し、引き続き、地方創生に向けた取組を進める中で、大学進学や就職などで、一度島田を離れたとしても、結婚・子育てなどを機に、再び戻ってきて暮らしたい、子育てしたいと思われるまちづくりを進めていく。